



2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年4月30日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社

上場取引所 東

コード番号 4957 URL <https://www.yschem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 禎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括本部長 (氏名) 原田 桂子

TEL 0847-45-3530

定時株主総会開催予定日 2024年6月20日

配当支払開始予定日

2024年6月21日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	13,192	11.0	681	227.7	1,173	87.6	583	12.9
2023年3月期	11,883	5.5	207	72.1	625	44.6	669	11.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	61.50		3.0	4.2	5.2
2023年3月期	65.85		3.4	2.3	1.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	27,223	19,897	73.1	2,157.15
2023年3月期	28,666	19,550	68.2	2,052.78

(参考) 自己資本 2024年3月期 19,897百万円 2023年3月期 19,550百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	767	76	2,197	5,265
2023年3月期	908	328	3,403	6,377

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		6.00		6.00	12.00	118	18.2	0.6
2024年3月期		6.00		6.00	12.00	114	19.5	0.6
2025年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00			

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,536	3.4	448	212.6	482	13.1	333	28.6	36.11
通期	13,305	0.9	893	31.1	961	18.0	664	14.0	72.05

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	10,839,663 株	2023年3月期	10,839,663 株
期末自己株式数	2024年3月期	1,615,858 株	2023年3月期	1,315,858 株
期中平均株式数	2024年3月期	9,480,363 株	2023年3月期	10,167,385 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 役員の変動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより経済活動の正常化が進み、回復基調で推移しました。しかしながら、円安に伴う物価上昇や資源価格の高止まり、ウクライナ情勢等の地政学的リスクや世界的な金融政策の引き締めを背景とした世界経済の減速懸念等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましては、継続的な原材料価格やエネルギー価格の高騰による製造コストの上昇、製品の価格競争等により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、多様化する市場や顧客ニーズの変化を把握し、国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進し販売拡大に努める一方、生産拠点の集約化等による生産性の向上や業務の合理化をはかり、収益の確保に取り組んでまいりました。しかしながら、収益性が低下したホットメルト事業における生産設備等について減損損失を特別損失に計上いたしました。

この結果、当事業年度の経営成績は、売上高13,192百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益681百万円（同227.7%増）、為替差益等により経常利益1,173百万円（同87.6%増）、減損損失等により当期純利益583百万円（同12.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・テルペン化学製品

粘着・接着用樹脂においては、自動車用品用途の変性テルペン樹脂及び工業用途のテルペン樹脂に加え自動車用品用途の水添テルペンフェノール樹脂が好調に推移したことにより増収となりました。化成品においては、香料分野及び製本用途のワックスが低調に推移した一方、電子材料分野及び光学用途の化学品が好調に推移したことにより増収となりました。この結果、当事業全体の売上高は9,842百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益1,632百万円（同52.9%増）となりました。

・ホットメルト接着剤

ホットメルト接着剤においては、生活用品用途の粘着剤及び食品用途の押出グレードに加え包装用途の汎用ホットメルト接着剤が好調に推移したことにより増収となった一方、減価償却費の増加により減益となりました。この結果、当事業全体の売上高は2,853百万円（同12.2%増）、設備投資の減価償却費の増加により営業損失59百万円（前年同期は営業損失51百万円）となりました。

・ラミネート品

ラミネート品においては、光沢化工紙用ラミネートフィルムが市況の低迷により減収となりました。この結果、当事業全体の売上高は497百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失5百万円（前年同期は営業利益30百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末の資産につきましては、前事業年度末に比べ1,443百万円減少し27,223百万円となりました。これは主に、建設仮勘定、仕掛品、売掛金が増加した一方、現金及び預金、機械及び装置、原材料及び貯蔵品、製品、投資有価証券の減少によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ1,790百万円減少し7,326百万円となりました。これは主に、未払金、未払法人税等が増加した一方、長期借入金（1年内返済予定含む）、役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ346百万円増加し19,897百万円となりました。これは主に、自己株式の取得により減少した一方、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動及び投資活動により得られた資金の増加があった一方、財務活動により使用した資金の減少があったことにより、前事業年度末に比べ1,111百万円減少し、当事業年度末には5,265百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は767百万円(前年同期は908百万円の使用)となりました。これは主に、売上債権の増加、為替差益の調整、投資有価証券売却益の計上、役員退職慰労引当金の減少による資金の使用があった一方、税引前当期純利益の計上、減損損失及び減価償却費の計上による資金の獲得によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は76百万円(前年同期は328百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による資金の使用があった一方、投資有価証券の売却及び償還、保険積立金の解約による資金の獲得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,197百万円(前年同期は3,403百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金金の返済、自己株式の取得による支出及び配当金の支払による資金の使用によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	71.7	74.6	77.4	68.2	73.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	19.2	24.0	21.8	17.5	24.1
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	2.1	1.2	—	6.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	214.8	341.8	—	38.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、賃上げによる内需の持ち直しやインバウンド需要の増加が期待される一方で、円安に伴う物価上昇や調達コストの上昇、人手不足の深刻化等の影響により依然として厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況において当社は、翌事業年度(2025年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高13,305百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益893百万円(前年同期比31.1%増)、経常利益961百万円(前年同期比18.0%減)、当期純利益664百万円(前年同期比14.0%増)を予想しております。

なお、当該見通しは当事業年度末時点の見通しであり、見通しに用いた仮定の不確実性が高く、仮定に状況変化が生じた場合には当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,427	5,315
売掛金	2,286	2,754
製品	2,763	2,559
仕掛品	1,631	2,144
原材料及び貯蔵品	6,893	6,678
前渡金	170	205
前払費用	27	34
未収還付法人税等	13	—
その他	257	115
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	20,468	19,804
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,377	2,276
減価償却累計額	△1,548	△1,512
建物(純額)	828	763
構築物	2,861	2,849
減価償却累計額	△2,514	△2,548
構築物(純額)	347	300
機械及び装置	10,803	9,969
減価償却累計額	△9,463	△9,543
機械及び装置(純額)	1,339	426
車両運搬具	105	108
減価償却累計額	△94	△95
車両運搬具(純額)	11	12
工具、器具及び備品	1,249	1,252
減価償却累計額	△1,143	△1,179
工具、器具及び備品(純額)	106	72
土地	2,755	2,745
建設仮勘定	191	804
有形固定資産合計	5,580	5,125
無形固定資産		
ソフトウェア	58	58
その他	1	1
無形固定資産合計	60	60
投資その他の資産		
投資有価証券	1,562	1,443
長期前払費用	6	8
繰延税金資産	179	262
その他	819	520
貸倒引当金	△9	△3
投資その他の資産合計	2,557	2,232
固定資産合計	8,197	7,418
資産合計	28,666	27,223

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	445	439
短期借入金	600	600
1年内返済予定の長期借入金	1,900	1,316
未払金	608	754
未払法人税等	40	159
前受金	3	5
預り金	26	43
賞与引当金	167	144
その他	5	53
流動負債合計	3,796	3,516
固定負債		
長期借入金	4,249	2,949
退職給付引当金	433	410
役員退職慰労引当金	629	444
その他	6	5
固定負債合計	5,319	3,809
負債合計	9,116	7,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789	1,789
資本剰余金		
資本準備金	1,728	1,728
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	0	0
資本剰余金合計	1,729	1,729
利益剰余金		
利益準備金	138	138
その他利益剰余金		
別途積立金	15,867	16,427
繰越利益剰余金	627	536
利益剰余金合計	16,632	17,101
自己株式	△768	△967
株主資本合計	19,382	19,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	168	244
評価・換算差額等合計	168	244
純資産合計	19,550	19,897
負債純資産合計	28,666	27,223

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	11,883	13,192
売上原価		
製品期首棚卸高	2,297	2,763
当期製品製造原価	10,195	10,337
合計	12,492	13,100
他勘定払出高	3	3
製品期末棚卸高	2,763	2,559
製品売上原価	9,725	10,537
売上総利益	2,157	2,655
販売費及び一般管理費	1,949	1,973
営業利益	207	681
営業外収益		
受取利息	26	57
受取配当金	16	16
保険解約益	—	88
受取家賃	20	20
為替差益	320	286
その他	52	50
営業外収益合計	436	520
営業外費用		
支払利息	10	20
自己株式取得費用	3	2
手形売却損	3	4
その他	1	1
営業外費用合計	19	28
経常利益	625	1,173
特別利益		
固定資産売却益	244	3
投資有価証券売却益	1	197
特別利益合計	245	201
特別損失		
固定資産除売却損	0	45
投資有価証券売却損	—	1
減損損失	1	619
特別損失合計	2	665
税引前当期純利益	868	709
法人税、住民税及び事業税	199	243
法人税等調整額	△0	△117
法人税等合計	199	125
当期純利益	669	583

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
			自己株式処分差益			別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,789	1,728	0	1,729	138	15,237	711	16,086
当期変動額								
別途積立金の積立						630	△630	—
剰余金の配当							△123	△123
当期純利益							669	669
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	630	△83	546
当期末残高	1,789	1,728	0	1,729	138	15,867	627	16,632

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△392	19,212	129	129	19,341
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△123			△123
当期純利益		669			669
自己株式の取得	△376	△376			△376
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			38	38	38
当期変動額合計	△376	169	38	38	208
当期末残高	△768	19,382	168	168	19,550

当事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益剰 余金	
			自己株式処 分差益					
当期首残高	1,789	1,728	0	1,729	138	15,867	627	16,632
当期変動額								
別途積立金の積立						560	△560	
剰余金の配当							△114	△114
当期純利益							583	583
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)								
当期変動額合計						560	△91	468
当期末残高	1,789	1,728	0	1,729	138	16,427	536	17,101

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△768	19,382	168	168	19,550
当期変動額					
別途積立金の積立					
剰余金の配当		△114			△114
当期純利益		583			583
自己株式の取得	△198	△198			△198
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)			76	76	76
当期変動額合計	△198	270	76	76	346
当期末残高	△967	19,652	244	244	19,897

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	868	709
減価償却費	480	607
減損損失	1	619
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△23
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	△23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	25	△185
受取利息及び受取配当金	△42	△74
支払利息	10	20
為替差損益(△は益)	△244	△242
保険解約損益(△は益)	—	△88
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△196
固定資産除売却損益(△は益)	△243	41
売上債権の増減額(△は増加)	△64	△468
棚卸資産の増減額(△は増加)	△756	△93
前渡金の増減額(△は増加)	54	△34
仕入債務の増減額(△は減少)	△128	△5
未払又は未収消費税等の増減額	△375	247
その他	△45	45
小計	△442	849
利息及び配当金の受取額	41	75
利息の支払額	△11	△19
法人税等の支払額	△496	△137
営業活動によるキャッシュ・フロー	△908	767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	457	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,009	△614
有形固定資産の売却による収入	266	3
無形固定資産の取得による支出	△5	△66
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	4	328
投資有価証券の償還による収入	—	100
保険積立金の積立による支出	△38	△25
保険積立金の解約による収入	—	397
その他	—	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328	76
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,590	△1,883
リース債務の返済による支出	△2	—
自己株式の取得による支出	△380	△200
配当金の支払額	△123	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,403	△2,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	244	242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,410	△1,111
現金及び現金同等物の期首残高	3,966	6,377
現金及び現金同等物の期末残高	6,377	5,265

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業の内容や製品別のセグメントから構成されており、「テルペン化学製品事業」、「ホットメルト接着剤事業」及び「ラミネート品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「テルペン化学製品事業」は、粘着・接着用樹脂及び化成品の製造・販売を行っており、「ホットメルト接着剤事業」は当社が製造している粘着・接着用樹脂等を使用しホットメルト型の接着剤を製造・販売しております。「ラミネート品事業」は当社が製造しているホットメルト接着剤等を使用して、光沢化工紙用等のラミネート品を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は帳簿価額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,827	2,541	513	11,883	11,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	68	105	—	174	174
計	8,895	2,647	513	12,057	12,057
セグメント利益又は損失(△)	1,068	△51	30	1,047	1,047
セグメント資産	16,655	2,082	299	19,038	19,038
その他の項目					
減価償却費	337	104	1	443	443
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	427	643	11	1,082	1,082

当事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	計	
売上高					
外部顧客への売上高	9,842	2,853	497	13,192	13,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	117	—	219	219
計	9,943	2,970	497	13,412	13,412
セグメント利益又は損失(△)	1,632	△59	△5	1,567	1,567
セグメント資産	17,386	1,355	299	19,040	19,040
その他の項目					
減価償却費	362	199	2	563	563
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	429	51	2	483	483

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	12,057	13,412
セグメント間取引消去	△174	△219
財務諸表の売上高	11,883	13,192

(単位:百万円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	1,047	1,567
全社費用(注)	△839	△886
財務諸表の営業利益	207	681

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:百万円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	19,038	19,040
全社資産(注)	9,628	8,182
財務諸表の資産合計	28,666	27,223

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない主に現金及び預金であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	443	563	37	43	480	607
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,082	483	48	281	1,130	764

(注) 1. 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社の設備投資額であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	合計
減損損失	—	1	—	1

当事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:百万円)

	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	合計
減損損失	—	619	—	619

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,052.78円	2,157.15円
1株当たり当期純利益	65.85円	61.50円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	669	583
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	669	583
普通株式の期中平均株式数(株)	10,167,385	9,480,363

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	19,550	19,897
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	19,550	19,897
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	9,523,805	9,223,805

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任取締役候補

取締役

新井 隆太郎 (現 営業部部長)

監査等委員である取締役 (社外取締役)

神原 宏尚

監査等委員である取締役 (社外取締役)

前岡 大

・退任予定取締役

監査等委員である取締役 (社外取締役)

前岡 良

監査等委員である取締役 (社外取締役)

内林 誠之

③ 就任及び退任予定日

2024年6月20日